

科目名	社会保障論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学科	□ 必修 ■ 選択	
			学科	□ 必修 □ 選択	
英文表記	Social Security	開講年次	□ 1 年 ■ 2 年 □ 3 年 □ 4 年		
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	ふじもと つよし	実務家教員担当科目		修得単位	2 単位
担当者名	藤 本 剛	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	社会保障制度の基本を理解し、公的年金、企業年金、失業保険、公的医療保険、公的介護保険等の仕組みや現状、課題を考えます。				
到達目標	制度の基本となっている社会保険のシステムを理解することで、その仕組みが失業や障がい、病気・ケガ、老齢、遺族など、生涯にわたって生じるリスクに対して、どのように機能するのかを学びます。また、制度の現状や課題について知り、自らの考え・意見を表現できることが目標です。				
授業概要	はじめに社会保障制度が形成されるに至った歴史的経緯や背景について学び、制度の根幹をなす社会保険について理解します。次に失業保険、年金保険、医療保険、介護保険の各制度について、それぞれわが国の仕組みと特徴を明らかにし、歴史と現状、課題を取り上げます。時間的制約があるので、詳しい説明はできない部分もありますが、自ら考える素材は十分提供したいと考えています。				
授業計画					
第 1 回	社会保障とは何か。歴史的に形成された過程と背景を明らかにし、現代に至る流れをたどります。				
第 2 回	社会保障の体系とその中心となる社会保険について、基本的な理解を深めます。				
第 3 回	社会保険の具体的な例として雇用保険を取り上げ、その仕組みについて理解します。				
第 4 回	身近な社会保険のひとつである公的年金の基本的な仕組みを学習し、国民皆年金の制度を理解します。				
第 5 回	秋田年金事務所から講師を招き、現場からみた年金事業に関して具体的な話を伺います。				
第 6 回	年金制度の歴史的変遷、現状、課題について考察します。				
第 7 回	公的年金とリンクしている企業年金、確定拠出型年金、話題のイデコなどを取り上げ、理解します。				
第 8 回	わが国の医療保険制度について、国民皆保険のベースである保険診療と診療報酬の仕組みを理解します。				
第 9 回	職域をベースとする健康保険の仕組みと課題を考えます。				
第 10 回	地域をカバーする国民健康保険制度の現状と課題を考えます。				
第 11 回	近年拡大している D P C（包括払い方式）について、導入の経緯や仕組みを学びます。				
第 12 回	医薬品について、保険との関係や薬局・薬剤師の機能、ジェネリックなどを取りあげ、考察します。				
第 13 回	公的介護保険の概要を明らかにし、導入に至った経緯や仕組みを理解します。				
第 14 回	公的介護保険の現状と課題について考えます。				
第 15 回	地域包括支援制度について考えます。				
第 16 回	定期試験				
授業時間外の学習	新聞などに載る年金や医療・介護の記事に目を通し、記事で取り上げられている内容の理解に努めてください。授業の予習、復習も併せて 1. 5 時間程度の学習を希望します。ネットを利用するのも一つの方法です。授業で取り上げたキーワードを確実に覚えるようにしてください。				
履修条件 受講のルール	特にありませんが、欠席した授業の内容は、ポータルサイトや受講した学生からの情報などでカバーするようにしてください。質問や意見などは出席カードに記入してください。				
テキスト	特に定めません。				
参考文献・資料	公務員 V テキスト『社会政策』第 1 2 版 TAC 出版 『厚生労働白書』各年版 厚生労働省 「厚生指針」増刊『保険と年金の動向』各年版 厚生労働統計協会 「厚生指針」増刊『国民の福祉と介護の動向』各年版 厚生労働統計協会				
成績評価の方法	試験（60%）、レポート、ビデオの感想・意見等（30%）、受講態度（10%）				

	※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	月曜日の１２時～１３時　木曜日の１６時３０分～１７時３０分
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	半期で行うには対象範囲が広い科目です。関心を持って積極的に予習・復習や情報収集を行ってください。